

5. 災害時の避難所とコロナウィルス感染症対策についてお聞きします。

まもなく梅雨を迎えますが、ここ数年局地的な集中豪雨や台風の被害が続いており、一昨年(2019年)の7月の集中豪雨、8月・9月の台風、昨年の9月の台風の際に、市内各所で避難所が開設されています。また南海トラフ地震をはじめ、地震の発生もいつ起こっても不思議ではありません。コロナウィルス感染症に関して新規感染者の数は減少し感染拡大の抑制が図られましたが、コロナがなくなったわけではなく、コロナと共存する中でなお第2波が予測される中、避難所における感染症対策を講じることが早急に求められています。

国では4月1日付で「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」通知が出されており、その後数度にわ

たり通知が出され適切な対応が求められています。大阪府でも6月に、感染症まん延時においても感染防止対策の徹底を図りながら適切な避難所運営が行われるように従来の避難所運営マニュアルに加えて「新型コロナウイルス感染症対応編」をつくり、市町村にも避難所運営マニュアル等の充実に努めるように求めています。

市として避難所運営マニュアルはどうなっているのか、コロナ感染症対策として、どのような課題がありそれに対してどう対処しようとしているのか、予算措置はどうお考えか、また市民の適切な行動の周知のための広報をどうするのか、お答えください。